

— 買い物の視点を考える —

The infographic features a central title 「エシカル消費」 (Ethical Consumption) in large black characters. To the right, a woman is shown pushing a shopping cart filled with various items. Surrounding the title are four circular icons: a handshake labeled 「持続可能」 (Sustainable), a t-shirt and shorts labeled 「環境保全」 (Environmental Protection), a banana and tomato labeled 「地域経済」 (Local Economy), and a recycling symbol labeled 「環境保全」 (Environmental Protection). The background includes illustrations of trees, a globe, and a recycling symbol.

皆

さんは、買い物をするとき、何を意識して商品やサービスを選んでいきますか。

流通や情報通信技術の発達等により、現在では世界中のさまざまな商品やサービスを選ぶことができ、私たちは豊かな消費生活を送っています。

しかしその一方で、私たちが商品を手にするまでの生産過程では環境破壊や貧困、児童労働など多くの問題が起っています。また、そういった環境問題や社会的課題は、私たち消費者には見えにくいいため、商品やサービスの裏側にどんな背景がある

始めませんか？

「エシカル消費」

環境保全

地域経済

のか、あまり関心を示すことがなかったと思います。

そこで、今回は、そのような社会問題等を解決する一つの手立てである「エシカル消費」についてご紹介します。日々の買い物の中で、できることから始めてみませんか。



【問い合わせ】
環境政策課環境計画・緑化推進担当
（☎282局1711 内線1453）

「ご存じですか？「エシカル消費」

「エシカル(ethical)」という言葉には、「倫理的・道徳的」という意味があります。「エシカル」と「消費」を合わせた「エシカル消費」とは、倫理的に考えたときに、多くの人が正しいと思うことを基準として商品を買いたい求めることをいいます。

誰がどこで商品を作り、お店までどのようにして運ばれてきたのか。自分が手に取るまでの過程を考え、人・社会・地域・環境に配慮されて作られた商品を購入することで、環境問

エコリーフマーク



資源採取から製造、物流、廃棄、リサイクルまで全ての定量的な環境情報を開示している商品に付けられる。

PETボトル リサイクル推奨マーク



使用済みPETボトルをリサイクルした素材を使用した商品に付けられる。

エコマーク



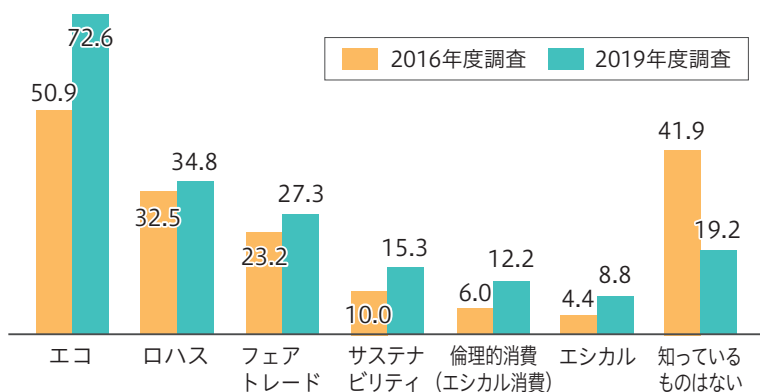
「生産」から「廃棄」まで環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられる。

知っておこう！

「認証ラベル ・認証マーク」

エシカル消費をする際の一つの基準になります。

【エシカル消費に関連する言葉の認知状況】



エシカル消費って みんな知ってるの？

消費者庁の調査によると、「倫理的消費(エシカル消費)」、「エシカル」は、ほかのエシカル消費に関連する言葉と比較して認知度は低い状況にあります。しかしその一方で、2016年度調査と比較すると、3年間で認知度がそれぞれ2倍以上に上昇しており、少しずつですが浸透しているのが分かります。

(参考) 消費者庁：倫理的消費(エシカル消費)に関する消費者意識調査報告書

題や社会的な課題に間接的に関わる
ことができます。

「エシカル消費」の第一歩は

まずは、普段の買い物で、これまでの「安い」「便利」「似合う」「おいしい」などといった視点だけでなく、「どこでどのように作られたのか」「環境に優しいか」「生産者の支援につながるか」といった視点を取り入れてみましょう。

また、次のような行動もエシカル消費といえます。

■ **必要な分だけ購入する**
買い物をする際に、「これは本当に必要なか…」と考える癖を付けましょう。

■ **長く使えるものを選ぶ**
少し値段が高くても、長く使えるもののほうが、使い捨てよりも結局はお得で、エコにもつながります。

■ **認証マークが付いた商品等を選ぶ**
商品やサービスを購入するときに参考にしたいのが認証ラベルやマークです。

例えば環境への負荷をできるだけ少なくした商品や、リサイクル素材を使用した商品、森林保全や海洋保全につながる商品等には「認証マーク」が付けられています。ほかに、発展途上国で作られた作物や製品を、適正な価格で継続的に取引する

ことを「フェアトレード」といい、専用のラベルがあります。これらのラベルやマークの付いた商品を購入することで、間接的に森林や海、発展途上国を支援することができます。

■ **地元の産品を購入する**
地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」は、新鮮なものが手に入るほか、地域の作り手にもお金が還元され、地域の振興にもつながります。また食材の輸送距離が減ること、輸送に伴う二酸化炭素の排出量が少なくなり、環境負荷を小さくすることもできるのです。

エシカル消費で未来が変わる

「エシカル消費」は、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、ゴール12「つくる責任 つかう責任」に関連する取り組みに位置付けられます。

消費と社会のつながりを「自分ごと」として捉え、世界の未来を変えるために行動しませんか。



国際フェアトレード認証ラベル



生産、輸出入、加工、製造の工程で、適正な価格や継続的な取引、安全な労働環境、児童労働の禁止、環境配慮等の国際的なフェアトレード基準が守られていることを証明するラベル。

MSC(海のエコラベル)



水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能な漁業で取られた水産物に付けられる。

FSC®マーク



動植物や林業従事者の人権を守り適切に管理された森の樹木や、適切だと認められたリサイクル資源で作られた製品に付けられる。

(参考)▽環境省ホームページ「平成30年度版環境・循環型社会・生物多様性白書」/「もっと先の未来を考えるエコ・マガジン ecojin」▽消費者庁ウェブサイト「エシカル消費特設サイト」